

# 岩手労福協

発行  
 (社)岩手県労働者福祉協議会  
 盛岡市大沢川原2丁目2番32号  
 TEL (019) 654-3082  
 発行責任者 砂金 文昭  
 編集責任者 佐々木誠志

No.144 2010年1月1日発行



## 年頭にあたって

社団法人岩手県労働者福祉協議会

会長 砂金 文昭

新年あけましておめでとうございます。皆様方には健康で希望にうち満ちた年をお迎えのことでしょう。

鳩山政権が誕生して初めての「お正月」ですが、政権は雇用問題や2010年度予算策定や沖縄米軍基地移転問題で、休みもそこそこ、きっとあわただしい新年のスタートでしょう。すべての国民と人類全てに幸福と平和をもたらす年となるよう期待しています。

正月といえば子ども達は「たこあげ」をしに野っ原にとんでいったものでした。カルタとりや福笑い、双六はつきもので、座敷に近所の友達が集まってきては大声ではしゃいだ記憶があります。今では、テレビが遊んでくれますし、ゲームもいっぱいありますから退屈は感じませんが、どうも季節感がありません。また人と人との交わりも極端に少なくなりました。大人の生活も変わりました。年始まわりは減り門付をして歩く獅子舞や権現様も来なくなりました。ハレの日はずなのに、ハレとケの区別無く普段のように正月が過ぎ去っていくのが、どこか寂しい気がしてなりません。

「福」をもたらす神は近頃どうも全ての人々に訪れていないようで、格差や貧困など社会のひずみは深刻な状態が続いています。とすれば、労福協みずから神の化身となって、格差・貧困で困っている人々に「福」をもたらす役割を担わなければなりません。これまで培ってきた知恵や教訓を社会のために役立てる、いわば「福」を成すための仕事にいよいよ邁進しなければならないと考えています。

今年もよろしくお祈りします。

正月や光差し込む仏の間  
 年神や真白き餅に願う朝

会 長	砂 金 文 昭
副 会 長	小野寺 正 志
〃	来 内 広 幸
〃	軽 石 義 則
専務理事	佐々木 誠 志
常務理事	小 野 孝 男
理 事	下斗米 義 孝
〃	佐々木 敏 男
〃	浦 山 正 年
〃	昆 誠 男
〃	矢 神 章 浩
〃	豊 卷 進 也
〃	千 葉 博 文
〃	八 幡 明 彦
監 事	藤 井 惠 一
〃	吉 田 正 孝
〃	柴 谷 正 孝

# 2010 謹賀新年



## 「働く者に希望と 安心の社会を」

連合岩手  
事務局長 小野 務

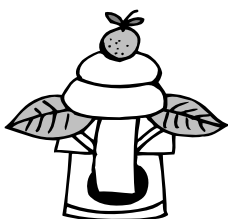
新年明けましておめでとうございます。  
日頃は、連合運動に対しご理解とご支援を賜りまして深く感謝申し上げます。  
さて、一昨年からの経済状況の悪化により雇用環境は更に深刻な状況にあります。特に高卒者・短大専門学校・大学などの新卒業者においては、卒業しても就職がなかなか難しい状況にあります。これから社会に飛び立つ若者に希望や夢が持てないことは、社会の責任であり私たち大人の責任ではないでしょうか。是非、「プラス1運動」として、それぞれの労使において、もう一人新規採用すべき協議をいただきたいと思っております。

連合はこのような状況の改善を目指し、雇用保険と生活保護の間に第2のセーフティネット創設を求めて来ました。その結果、雇用保険受給資格のない求職者に対して、基礎的な能力の向上を含めた職業訓練機会の提供と職業訓練期間中の生活保障を行う「緊急人材育成支援事業」が開始されます。

さらには、仕事がない・雇用保険がない・住まいがないなどの方々の「困った」に対応するために、携帯や電話やパソコンから気軽にアクセス出来る「イッポ前ナビ」を立ち上げました。今後も、雇用・労働環境の改善に向け全力で取り組んで行きたいと思っております。

連合岩手は昨年の12月11日をもって満20年になりました。今、労働運動は逆風の中ではありますが、「すべての働く者の連帯で、希望と安心の社会を築こう」をスローガンに掲げ、21世紀にふさわしい労働運動の構築をめざし運動を進めて行きたいと思っております。

今年も一層のご支援ご協力をお願い申し上げますとともに、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。



## 明日へ向けて

平和環境岩手県労働組合センター  
議長 来内 広幸

新年明けましておめでとうございます。昨年は、明治維新に匹敵すると言われる政権交代を、国民一人一人の力によって成し遂げることができました。三党連立政権の基本合意である「平和主義、基本的人権、国民民主権」という憲法の三原則に基づく政策の実現に向けて、労働組合の果たすべき役割は、これまで以上に大きくなると思います。その意味でも、労働組合の政治に対する向き合い方が問われることは論を俟たないと思っております。「虎は飢えても死したる肉を食わず」と言われますが、政権与党に与する労働組合の立ち位置としても言えると思っております。政官財の三極癒着構造から政労財にチェンジされたと言われない労働組合の矜持は持ち続けなければならないと思っております。そして、今年は新政権の行方を左右する大きな参議院選挙の年でもあります。平和な社会と民主主義を根付かせていくためにも皆様のご支援をいただき、地域住民とともに頑張っていきたいと思っております。皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げ、新年の挨拶とします。



## 『新陳代謝』

岩手友愛会  
会長 軽石 義則

新年あけましておめでとうございます。みなさまにおかれましては、すこやかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、年末年始にあたり業務に就かれた仲間のみなさまに対しまして敬意を表します。

さて、昨年は歴史的にも大きな出来事として、永年の悲願でもありました、民意による政権交代が実現されました。前回の参議院議員通常選挙において民主党が躍進して以来、国会運営に大きな変化が生まれ、国民の判断はこれまでにない結果を生み出しました。明

るさを実感できない景気状況や雇用情勢など、国内外の経済・社会情勢は、なかなか安定の兆しを見出すことが出来ておらず、新政権に期待しつつも、将来への安心を抱ききれないままの年明けを迎えた感があります。岩手におきましては、民主党所属の国会議員9名となり、全県制覇をいたしました。『希望』を持って岩手県を築き続ける達増知事を先頭に、国政と一層連携した県政を新たな視点で、さらに確実に運営されております。本年は、民主党を中心とする政権をさらに安定させることを目的とした参議院議員通常選挙が施行されます。民主党に対しては、生活者の視点のみに縛られずに、日本の将来を見据えた政権運営に期待したうえで、労働組合の立場から発言し、その責任を果たすことであると考えます。また、3月に施行されます奥州市議会議員選挙など各種地方選挙におきましても、これまで同様の取り組みを継続していかなければなりません。皆様のご理解とご支援を引き続きお願いいたします。

岩手県内の情勢については、行政が中心となりながら各界各層の地道な努力はされているものの、雇用状況においては沿岸・県北地域のみならず北上川流域においても、厳しい状況が続いており、先行きが見通せない環境にあると考えます。新規卒業者の内定についてもこれらの状況を反映し、希望と現実の大きな隔たりを感じざるを得ません。将来を背負う若者がスタート時点から挫折感を味わうことのない社会を構築することの急務を感じます。私たちの先達が築き上げてきた自由にして民主的な労働運動を基本として、連合岩手との連携をさらに深めていかなければなりません。岩手友愛会としては、可能な努力を惜しまずに早期に一体的運動ができるように合意形成をはかりたいと考えております。昨年を表す漢字は『新』であります。新政権発足による新しい時代の幕開けから連想されたものであると考えます。時代は大きく変わろうとしており、「新陳代謝」が出来なければいつかは滅びることを歴史が証明しております。労働組合も同様であると考えておりますし、そのことにより労働組合の価値と存在感を高めることだと考えております。2010年を迎え、岩手友愛会としてもみなさまと力を合わせ、岩手県に生まれて育ったことに誇りを持ち、次の世代に継承する「安心・安全・安定」した社会づくりのため、明るく元気にわかりやすい運動を着実に推進していきますので、変わらぬご指導とご支援をお願いし、年頭に当たっての挨拶といたします。

## 希望を託せる 生活環境へ



東北労働金庫岩手県本部

本部長 小野寺 正 志

岩手県労働者福祉協議会に集う、多くの働く仲間の皆様、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

また、昨年引き続き東北労働金庫岩手県本部をご愛顧賜り、支えていただきましたことに心から感謝と御礼を申し上げます。

さて、一昨年のリーマンショック以来、低迷する景気の状態は最悪期を脱したとの見方もされていますが、外需に頼らざるを得ない日本経済の動向は、アメリカ経済の回復遅れの懸念から、製造業を中心に依然として厳しい経済環境にさらされているものと考えます。

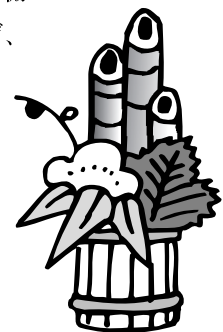
昨年8月の歴史的政権交代は、長く低迷している経済回復に大きな希望を寄せているものの、市場は政策決定の迷走に懸念を強めています。

混迷する渦中に置かれ、一番痛手をこうむっている勤労者の雇用不安・生活不安は益々高まるばかりで、不安を取り除く早急な政策の実現が求められているものと考えます。

このような時代にあって、全ての勤労者・労働者の生活の拠り所としての労働者福祉金融機関の役割・運動は益々重要なものとして期待されています。そのことを念頭に、勤労者全ての方々に対し、真の「ゆとり豊かさ」が実感できる公正・公平な生活環境を整えていく労働金庫の役割と責任を自覚し、お客様の目線、お客様の立場に立ったよりきめ細かなサービス向上に努め、安心と信頼が寄せられる「ろうきん」づくりに責任を果たしていきたいと考えます。

厳しい年明けではありますが、希望を託し、2010年が皆様にとりまして良き年でありますよう、心からご祈念申し上げますとともに、東北労働金庫岩手県本部に対しますなお一層のご指導・ご協

力を賜りますようお願い申し上げます、  
新年のご挨拶とさせていただきます。





## 新たな年を 迎えて

全労済岩手県本部

理事長 佐々木 敏 男

年頭にあたり、謹んで新年のご祝賀を申し上げます。  
また、旧年中の全労済事業へのご協力に対しまして、  
あらためて深く感謝申し上げます。

さて、新年を迎えても経済情勢の見通しは依然とし  
て不透明であり、私たち労働者の暮らしは厳しい状況  
が続くと考えられます。

このような時代だからこそ、設立の理念である「た  
すけあい」の精神を掲げて一層の努力をすべく、役職  
員一同が思いを新たにしているところです。組合員の方  
々のさらなる安心の実現に向けて、県本部一丸とな  
って事業に取り組む所存ですので、引き続きのご指  
導を切にお願い申し上げます。

また、当会の保養施設「南部富士見ハイツ」は季節  
の食材を活かした会席料理コースを各種取り揃えてお  
ります。今年もご愛顧くださいますようお願い申し上  
げます。

本年が協議会の皆さまのさらなる飛躍の年になりま  
すようご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



## 新春所感

ハピネス共済会  
財団法人岩手県民共済会

理事長 菅 生 哲 修

新年あけましておめでとうございます。

また、昨年中はハピネス共済会の様々な取り組みに  
対し、御支援と御協力を頂き心から感謝申し上げます。

昨年7月24日に開催いたしました、第39回評議員会  
におきましては、厳しい環境下ではありましたが、健  
全な決算状況(09年5月31日決算)を報告することが  
でき、これもひとえに皆様のご支援・ご協力の賜物  
と役員一同肝に銘じ、御礼を申し上げます。

しかしながら、3年前に成立いたしました「公益法  
人改革3法」による新法人移行が1昨年(平成20年)  
12月1日から平成25年11月30日までの間に、新法人  
に移行しなければならず、新法人移行時から、改正  
「保険業法」が全面適用となり、弊会のように岩手県  
民の皆様のみを提供している小規模共済事業者に取り  
ましては、大変厳しい改正内容となっております、このま

ま推移いたしますと、加入会員の皆様に多大な御迷惑  
をおかけすることになることから、類似共済を取り扱  
っている事業団体への移管も含めた検討に入っている  
ところであります。

また、施設事業におきましては、自治労岩手県本部  
様に入居して頂いているサンハピネス(旧称、岩手県  
民共済会館)の事務所そして住居部分と満室の状況と  
なっております。

さらに、弊会事務所のある山王ハイツにおいては、  
1階部分テナントにおきましては、不幸にも「いわて  
生協山王店」が事業不振から退去となりましたが、幸  
いにも(株)薬王堂に入居してもらうことができました。  
また、ラーメンを営む店舗、そして理容店、コインラ  
ンドリー、2階にはホテルサンノウ、盛岡市内の勤労  
者への福利厚生事業を主とする財団法人盛岡市勤労者  
福祉サービスセンター、施設の保守・メンテナンスが  
主たる業務の(株)協同、保険代理店・ビル・マンショ  
ン経営・不動産の賃貸斡旋・仲介と事業の幅を広げて  
いる有限会社きょうさいライフ、共済・施設事業の弊  
会事務所と日常生活には欠かせない多彩な業種に入居  
して頂いております。

最後に厳しい環境下ではありますが、役員一丸と  
なり奮闘する決意を申し述べ新年のご挨拶とさせてい  
たいただきます。



## 労働者福祉運動の 拠点として

財団法人 岩手労働福祉会館

理事長 来 内 広 幸

謹んで新春のお慶びを申し上げます。昨年中は労働  
福祉会館のご利用を賜り心から感謝を申し上げます。  
また、一段と厳しい経済環境下においても、労福協構  
成団体の皆様をはじめ関係諸団体の多くの方々の変  
わらぬご理解とご協力を頂きましたことに深く感謝を  
申し上げます。

さて、新政権による本格的な生活再建がスタートす  
る幕開けとなりました。政治スローガンである「コン  
クリートから人へ」の社会実現を期待するとともに、  
労働福祉会館も人とのつながりを大切に事業運営に励  
んで参りたいと思います。そして、これまで同様に1  
月には労働組合の旗開きを中心として皆様のご用命を  
承りながら、例年好評を得ております2月の年祝い、  
春の歓送迎会や夏場のビアフェスタの企画をはじめ  
リーズナブルな企画商品を取り揃えて皆様のご利用を

心よりお待ち申し上げております。さらには、労働福祉会館はご存知のとおり労働運動の砦としての位置づけもあり、その会館の持つ機能と役割を肝に銘じながら会館運営にあたることは言うまでもありません。

一方で、会館を取り巻く環境は、公益法人改革への対応や市道拡幅工事の進捗状況などにより大きく動き出す一年となることも予想されます。関係団体との十分な検討を進めながら、適切な事業運営を図って参りたいと思います。

最後に、私たちは変革の時代の入り口に立っています。ダーウィンは生き残る種について、「それは強い種でも、賢い種でもなく、変化に対応できる種が唯一生き残る」と言っています。労働福祉会館も時代の変化に対応することは当然であります。そして、人と人が豊かさを共感できる場の提供と人の絆を大事に、今年も事業運営を着実に堅実にいき、利用者へのサービスは的確に迅速をモットーに、役職員一同さらに努力して頑張って参ります。皆様のご多幸とご繁栄を心よりご祈念申し上げますとともに、変わらぬご支援をお願い申し上げます。



## 今年は生活再建の 支援に全力を

岩手県消費者信用生活協同組合  
理事長 矢神章男

謹んで新春のお慶びを申し上げます。また、日頃から当生協に対して格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当生協の相談は年間5千件を超える水準で推移しておりますが、ここ2年の間に大きく相談内容が変化しました。昨今の不況による雇用危機を反映し、多重債務相談から生活の困難を抱えての相談や生活費の工面に関する相談が増加しております。このような相談者の相談内容の変化に対応して、当生協は下記の取り組みを開始しました。

- ① 相談員が生活再建支援をするためのスキルアップ（家計改善や公的生活支援制度の知識取得・消費者相談の資格取得の推進など）を図る。
- ② 生活困窮者への支援を強化するため、県や盛岡市の業務委託を受けて相談員を増強して相談体制を強化。
- ③ 自殺防止対策事業として「お金の悩みホットライン」(0120-979-874) 開設。
- ④ 県内全市町村の預託制度による消費者救済資金貸付制度の資金使途を生活資金に拡大して4月1日からの実施を図る。

以上の取り組みや親身な相談と地域の関係機関、団体との連携を強める中で、くらしの困難を地域のネットワークの力を生かして乗り越え、安心・安全な地域社会の実現に貢献して参りたいと考えております。

最後に、これまでと同様のご支援・ご指導を賜りますようお願いするとともに、皆様のご健勝をご祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。



## 年頭挨拶

岩手県学校生活協同組合  
理事長 豊巻浩也

新年、明けましておめでとうございます。

岩手県学校生活協同組合は小中高校の教職員や退職教職員を中心に、安全安心な食品を中心とした共同購入や、ガソリン・灯油事業、組合員証によるカード事業、各種共済・保険など多くの事業に取り組んでおります。

09年は、世界的な経済恐慌の中、日本の失業率は過去最高を記録し、有効求人倍率も過去最低の水準となりました。県内でも解雇された方々の再就職もままならず、消費の冷え込みが一段と厳しく、不況の嵐が吹き荒れました。学校職場においては、県税収の減少等による県予算の削減により県職員月例金のカットが継続される中、追い討ちをかけるように一時金のカットが実施され、私達の学校生協にとっても厳しいものがありました。また、学校職場の多忙な状況は、組合員と職員との対話時間の確保が以前にも増して難しくなっております。このような中、「もう一品の利用」運動や共同購入の利用拡大がすすめられ、過去最高の利用者数と利用額を達成いたしました。組合員の意識の向上とそれを支えた職員の努力が実り、設立認可60周年にふさわしい年でした。

本年は、拡大している利用者を強固な基盤とした新たな中期計画をスタートする年です。特に共同購入は経営に与える影響が大きく、毎週の供給活動でお勧め企画の特徴をお知らせするなど、継続的かつ細やかな手だてによって拡大を進める必要があります。その為には供給活動の初心に戻り、共同購入企画の学習活動を展開したいと考えています。この事業に取り組む上で学校生協では、平和で安心して暮らせる社会の実現や地産地消などの運動についても他団体とともに取り組んでまいります。

ぜひ多くの皆さんにご加入いただき、ご利用いただくとともに、平和とくらしを守る運動とともに進めて参りましょう。